

松山市 情報活用能力の育成目標

	学習内容	I 小学校低学年	II 小学校中学年	III 小学校高学年	IV 中学校	情報活用能力の体系表 (文部科学省) より
A 探求における 情報を活用する力	1 情報の読み取り・取捨選択	・大切な情報を選ぶ	①資料から視点に沿って必要な情報を読み取る ②課題解決に役立つ情報を選ぶ	①複数の情報から共通・相違点を見つけ、読み取る ②選んだ根拠を説明する	①複数の情報から矛盾点や欠けている情報を見つける ②信頼性や信ぴょう性を考えて情報を選ぶ	B1
	2 情報の整理	・簡単な絵や図、表やグラフを用いて情報を整理する	・「考えるための技法」を用いて情報を整理し、新しい視点をもつ	・「考えるための技法」を適切に選択、活用し、情報を分類し、関連付ける	・「考えるための技法」を選択したり、組み合わせたりして活用し、情報を分類し、関連付ける	B1② C1①
	3 伝達内容の構成	・話す事柄の順序を考える	・話の中心が明確になるように構成を考える	・相手を説得するために論理を組み立てる	・全体を見直し、内容を構成する	B1①
	4 表現の工夫・受け手への意識	・相手を意識し、分かりやすく表現する	①メディアに応じた工夫をする ②相手を意識して伝え方を工夫する	①伝えたいことに応じて表現を工夫する ②相手の反応を見て伝え方や内容を工夫する	①メディアを組み合わせることで表現を工夫する ②相手の関心や前提知識に配慮して伝え方や内容を工夫する	B1③
	5 情報活用の計画	・問題解決による情報の大切さを知る	・目的を意識して情報活用の見通しを立てる	・問題解決のための情報技術の活用の計画を立てる	・条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立てる	A2② C1②
	6 情報活用の評価と改善	・情報の大切さを意識しながら情報の活用を振り返り、良さに気付く	・情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけば良いか考える	・情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を論理的に考える	・情報及び情報技術の活用を評価し、手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	B1④
	7 情報技術の将来	①新しい情報技術がどんなものか知る ②情報や情報技術を適切に使おうとする	①身の回りの新しい情報技術を見つける ②情報や情報技術を生活に活かそうとする	①クラウドや5G、AIなどの新しい情報技術にどう関わるか説明する ②情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする	①クラウドや5G、AIなどの新しい情報技術が社会や産業にどう活用されているか説明する ②情報や情報技術をよりよい生活や持続可能な社会の構築に活かそうとする	A1② A3① C2②
B 基本的な技能	1 PC・アプリケーションの操作	①アプリケーションの基本的な使い方を知る ②写真の撮影、手描き等の操作をする	①ローマ字で文字入力をする ②写真や動画の撮影、音声の記録をする	①ファイル・フォルダの管理をする ②写真や映像、音声の加工・編集をする	①クラウド等を用いた協働作業のためにコンピュータを活用する ②目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択、活用する	A1①
	2 情報検索・利用	①自分が必要とする情報を見つける ②図書館内にある本や資料が分類別にまとめて並べられていることを知る	①キーワードを使って検索する ②分類法によって、自分に必要な本や資料を見つける	①インターネットサイトの構造を理解して必要な情報を見付ける ②図書や資料の目次や索引を活用して情報を見付ける	①複数の単語を組み合わせた検索など条件を工夫して検索する ②図書・新聞・文献のメディアの特徴を理解して必要な情報を見付ける	B1 C1①
	3 情報の収集（対人）	・話の大切な部分を落とさずに聞く	①知りたい情報を得るための質問を考える ②話のポイントを短い言葉で書く	①下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶ ②目的にあった質問の形式や内容を考える ③箇条書き・キーワード等でポイントをまとめる	①インタビューをする相手が答えやすいように質問の順番を工夫する ②集計・分析するために適切な設問文や選択肢を作成する ③書く場所や矢印・強調などで工夫する	A2①
	4 表現・発表	・自分の考えや思いを自分の言葉で発表する	・相手や目的を意識したプレゼンテーションをする	・聞き手とのやりとりを含むプレゼンテーションをする	・Webページ等による発信や交流をする	A2① B1①
C 問題解決・ プログラミ ング的思考	1 情報の分解・分類・関係付け	・情報の大体を捉えて整理し、自分の言葉でまとめる	①情報を決められた観点に分類・整理する ②情報と情報の間にある関係に気付く	①観点を考えて情報を分類する ②情報と情報の関係を図やプログラムで表現する	①情報の性質を意識して構造的に捉える ②情報の規則性、順序性、一般性を図やプログラムで表現する	B1
	2 問題解決の手順	・問題解決の手立てを考える	・問題解決の流れを手順に表す	・問題解決の手続きについて順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現する	・問題解決の手続きについてアクティビティ図等を用いてモデル化する	A1③
	3 試行錯誤	・うまくいかない時に繰り返し取り組み解決しようとする	・うまくいかない時に問題解決の方向性や改善策に気付く	・試作やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善策を見いだす	・条件を切り分け、解決方法を論理的に考えて取り組む	C1②
	4 データの傾向	・データを集める、知る、理解する	・大まかなデータの傾向を見いだす	・データの変化を捉えて説明する	・表やグラフを用いてデータを統計的に処理する	B1
D 情報モラ ル・情報セ キュリティ	1 コミュニケーション	・他者との情報のやりとりがコミュニケーションであると理解する	・相手によって受け止め方が違うことを理解する	・相手を意識し、発信する情報に責任をもつ	・ネットワークの公共性を意識して行動する	C2②
	2 個人情報・法と権利	・人の作った物を大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする	・自分や他者の情報を大切さを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする	A3② C2①
	3 健康と安全	・情報機器を使ってよい場所や時間を守る	・情報機器を使う場所や時間を自分で管理する	・健康に配慮して情報機器・サービスを活用する	・健康や安全に対する情報機器・サービスのメリット・デメリットを理解する	C2①
	4 ルール・マナー・セキュリティ	・コンピュータを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする	・情報の発信や情報をやりとりする場合にもルール・マナーがあることを踏まえ、行動しようとする	・通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする	・社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを踏まえ、行動しようとする	A3② C2①

※ この表内において「考えるための技法」とは、「考える際に必要となる情報の処理方法を『比較する』、『分類する』、『関連付ける』のように具体化し、技法として整理したもの」とする